

別表(1)

教育課程及び授業日時数

インテリアデザイン科

課 程			専 門 課 程			単 位 表 示			
学 科			インテリアデザイン科						
科 目			第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年	
一 般 科 目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	60			2			
	2	コミュニケーション活動Ⅱ		60			2		
	3	コミュニケーション活動Ⅲ			60			2	
専 門 科 目	4	立 体 構 成	30			1			
	5	インテリアスケッチ	60			2			
	6	色 彩 学	60			2			
	7	デ ザ イ ン 史	30			1			
	8	表現演習Ⅰ(図学)	120			4			
	9	表現演習Ⅱ(図学)		90			3		
	10	造形演習(構造力学)		90			3		
	11	素材演習Ⅰ(建築材料)	120			4			
	12	素材演習Ⅱ(建築材料)		120			4		
	13	CAD・CGデザインⅠ(基礎製図)	180			6			
	14	CAD・CGデザインⅡ(基礎製図)		120			4		
	15	CAD・CGデザインⅢ(基礎製図)			90			3	
	16	デザインⅠA(設計製図)	120			4			
	17	デザインⅠB(環境工学)	120			4			
	18	デザインⅡA(設計製図)		180			6		
	19	デザインⅡB(一般構造)		120			4		
	20	デ ザ イ ン Ⅲ			60			2	
	21	空間デザインA(建築法規)		30				1	
	22	空間デザインB(建築生産)		30				1	
	23	空間デザインC(建築設備)			30			1	
	24	ポートフォリオ制作			30			1	
	25	プレゼンテーション技法			30			1	
	26	卒業制作(建築計画)			570			19	
	特 別 科 目	27	キャリアプランⅠ	30			1		
		28	キャリアプランⅡ		30			1	
		29	キャリアプランⅢ			30			1
30		産学連携プロジェクトⅠ	60			2			
31		産学連携プロジェクトⅡ		30			1		
32		産学連携プロジェクトⅢ		30			1		
33		産学連携プロジェクトⅣ			60			2	
34		研 修 旅 行		60				2	
35		ボランティア活動Ⅰ		60				2	
36		ボランティア活動Ⅱ			60			2	
37		インターンシップⅠ		60				2	
38		インターンシップⅡ			60			2	
39		チャレンジプログラムⅠ	30			1			
40		チャレンジプログラムⅡ		30				1	
41		チャレンジプログラムⅢ		30				1	
42	チャレンジプログラムⅣ			30			1		
43	チャレンジプログラムⅤ			30			1		
単 位 合 計 数						33	33	32	
年 間 履 修 時 間 数			990	990	960				
年 間 授 業 日 数			180	180	180				

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
あらゆる活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でコミュニケーションを図る。						
授業の概要						
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。						
成績評価の方法						
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）					平常点	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	始業式		4			
2.	終業式		4			
3.	球技大会		4			
4.	東京研修		18			
5.	デザイン・ア・ラモード		18			
6.	3年生を送る会		4			
7.	他、学校行事、学科活動を含む		8			
8.						
9.						
10.						
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
立体構成		講義		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小泉 秀一郎
授業の目的・目標					
立体造形演習を通じ、物や空間の立体的な認識・理解力を深める。 デザインを考えるコツや癖をつける。デザインとは面白いものということを知る。					
授業の概要					
模型づくりを通じて、考えたものを立体的に表現する手法を学ぶ。 模型で検討する方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢、模擬試験、検定結果を含む）				学習意欲	50%
				課題完成度	50%
使用テキスト・教材					
カッター、カッターマット、ステンレス定規150mm、300mm、スチのり					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自分の仕事の紹介 「本講義での目標」 今後の課題について					2
2. 「デザイナーの紹介1」 「考え方について」 / 課題1					4
3. 「デザイナーの紹介2」 「デザインについて」 / 課題2					4
4. 「デザイナーの紹介3」 「整理整頓について」 / 課題3					4
5. 「デザイナーの紹介4」 「メリハリについて」 / 課題4					4
6. 「デザイナーの紹介5」 「プロダクトと空間について」 / 課題5					4
7. 「デザイナーの紹介6」 「目地について」 / 課題6					4
8. 「デザイナーの紹介7」 「全体とディテールについて」 / 課題7					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インテリアスケッチ		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	安富 万里子 小沼 勝也
授業の目的・目標					
<p>道具を使わなくても、打ち合わせをしながら空間をスケッチで表現できることが、インテリア関係の職場においては、重要かつ不可欠であり、その能力を養うことは就職にも有利になる。他の授業で行う、空間のプランや表現に必要な能力を身に着ける。</p>					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。					
成績評価の方法					
学習意欲50%、課題50%				学習意欲	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
プリントを配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	直線曲線等の様々なのトレーニング	2	16.	○インテリアスケッチ基礎	2
2.	立方体・円柱・球等の描画	2	17.	①色鉛筆での彩色	2
3.	アイソメ図の描画	2	18.	②様々な空間を描く	2
4.	複雑な立体の描画	2	19.		2
5.	一消点図法演習1	2	20.	○マーカー基礎	2
6.	一消点図法演習2	2	21.	①コピックマーカーでの彩色	2
7.	二消点図法演習1	2	22.	②様々な画材を組み合わせた表現	2
8.	二消点図法演習1	2	23.		2
9.	二消点図法演習2	2	24.		2
10.	二消点図法演習2	2	25.		2
11.	室内パース模写	2	26.	○実際のインテリア写真を	2
12.	室内パース模写	2	27.	使用した作品の制作	2
13.	平面図からのパース描画	2	28.		2
14.	平面図からのパース描画	2	29.		2
15.	着彩し提出	2	30.		2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2020年度	
			科目コード		J-K16	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
色彩学			講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	大橋 としみ	
授業の目的・目標						
デザインで重要な役割を果たす「デザインの色彩」を色彩検定3級のテキストを学習することで、カラーコーディネイトに関わりのある色の世界を理解する。 また講義をもとに実習課題を通し、目的に合ったカラーコーディネイトが表現、伝達ができるようになる。						
授業の概要						
『色』は私たちの日常生活に溢れ、また幅広く活用されるものでもあります。色彩に関してその性質や本質を体系的に学習してゆくとともに、配色技法を習得し演習を行うことで色の微妙な識別判断、心理効果、色彩表現を体験的に学習できる。						
成績評価の方法						
1. 課題（提出された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（積極性、模擬試験、検定結果を含む） ※未提出の実習課題（宿題）があった場合は不合格とする					課題	35%
					平常点	30%
					学習意欲	35%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩公式テキスト3級 ・A4クリアファイル（20P以上） ・演習台紙 ・配色カード199b ・はさみ ・ステックのり 						
授業内容・授業計画						
						時間数
1 ガイダンス						2
2.3 色の表示①／色の三属性・体系的な色の捉え方・色相環						4
4.5 色の表示②／色の分類と整理法・言葉による色の表現方法(実習課題)						4
6.7 色のイメージを理解する／色彩心理と色彩感情（カラーコミュニケーション）						4
8.9 色を見るための条件／色を感じる目の仕組み・照明と色の見え方・混色						4
10.11 色の視覚効果／色の対比と同化現象（実習課題）						4
12.13 ユニバーサルデザインについて						4
14.15 色彩調和について①／色相に基づいた配色・トーンに基づいた配色						4
16.17 色彩調和について②／グラデーション・アクセントカラー・セパレーション						4
18.19 インテリアと色彩						4
20.21 インテリアデザインでのカラーの役割(実習課題)						4
22.23 ファッションと色彩／デザインにおける配色の応用						4
24.25 弱点強化						4
26 直前対策						2
27～30 模擬試験						8
その他				関連科目		
欠席者には使用したプリントを翌週渡します。解答については出席者に聞くか自らテキストを読んで記入すること。 当日欠席により課題提出が遅れる場合は事前に受付します。 携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
デザイン史		講義		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
歴史上、現代そして未来のデザインに影響を与える建築やバウハウスの存在、それに関わったデザイナーや建築家を研究する。また今もなお美しいとされるデザインの手法や構造美と現代のデザインとの繋がりを理解し、自分のデザインに活かす。						
授業の概要						
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。						
成績評価の方法						
学習への意欲（ノート添削）・理解度（期末テスト）の総合評価				期末試験	70%	
				平常点	10%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
毎回A4サイズのプリント資料を用意します。各自ファイリングすること。						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. デザインとは？デザイン史の必要性について						2
2. 日本建築の歴史(飛鳥～奈良～鎌倉)、住宅の成り立ち						2
3. 日本建築の歴史(室町～安土桃山～江戸)、日本建築特融の造作、建具、伝統的構法						2
4. 日本建築の歴史(明治～大正～昭和)、社会の動きに伴う暮らし方の変化						2
5. 日本の近代デザイン、現在のデザインを支えた巨匠						2
6. 西洋建築・家具の歴史(古代)						2
7. 西洋建築・家具の歴史(中世)						2
8. 西洋建築・家具の歴史(近世)						2
9. 西洋建築・家具の歴史(近代)						2
10. 近代デザインの成立・アーツアンドクラフツ運動・アールヌーボーについて						2
11. 近代デザインの成立・バウハウスが生んだデザイン						2
12. 家具デザインの国際化						2
13. 北欧が生んだ建築家・家具デザイナー						2
14. ミッドセンチュリーのインテリア						2
15. 期末テスト						2
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
表現演習 I (図学) ①			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	120	2	日下文	
授業の目的・目標						
「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得します。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現します。対象をよく観察し、テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学びます。						
授業の概要						
デッサンとは「理解する力」のことです。写實的に表現できるようになるには対象物を深く観察、把握することが必要です。ひとつのモノ・コトを様々な視点からとらえ、再構成し、絵作りできる力を養います。5時間程で一枚完成、講評会40分を行います。						
成績評価の方法						
描写力、作品完成度、平常点、授業姿勢など					平常点	60%
					課題	10%
					授業態度	30%
使用テキスト・教材						
ヴィファールF6、鉛筆、練り消しなど						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 絵画の起源 ・ラスコーの洞窟壁画より			2	16. 自然物を描く・水の表現		2
2. デッサンとは・鉛筆等、道具の使い方			2	17. 素材を描きわける・複数のモチーフを描く		2
3. 円柱の描き方・紙コップ、折り紙			2	18. 布、ガラス、ステンレス、ワイン瓶、ローブなど		2
4. 円柱の描き方・グラデーションについて			2	19. 素材を描きわける・質感の表現		2
5. 円柱の描き方・光、影、陰について			2	20. 素材を描きわける・細密表現について		2
6. 円柱の描き方・構図について			2	21. 空間をデッサンする、透視図法を学ぶ		2
7. 立方体の描き方・レンガ、木など			2	22. 一点、二点、三点透視図法		2
8. 立方体の描き方・陰影における立体表現			2	23. 手を描く・〇〇を持つ手		2
9. 立方体の描き方・陰影における空間表現			2	24. 手を描く・形や陰影のアタリについて		2
10. 横になった円柱の描き方			2	25. 手を描く・ポイントの捉え方		2
11. 楕円、球の描き方			2	26. 手を描く・細部の描き込み		2
12. 楕円、球の描き方・丸い皿と任意のモチーフ			2	27. 自画像・構成デッサン		2
13. 楕円、球の描き方・明暗のバランス			2	28. 自画像・作品のテーマを考える		2
14. 楕円、球の描き方・モチーフの設定と構図			2	29. 自画像・画面構成を考える		2
15. 自然物を描く・レモン、トマトなど			2	30. 自画像・採点		2
その他			関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度			
			科目コード				
時間数は45分換算							
授業科目名		授業形態	学科・コース				
表現演習 I (図学) ②		演習	インテリアデザイン科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	120	2	安富 万里子		
授業の目的・目標							
表現力・発想力の向上と画材選択の幅を広げることができる。講評会では学生間のコミュニケーションも大切にし、個々のもつ感覚を発見しながら伸ばすことも目標とする。							
授業の概要							
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。							
1. 課題：提出期限と作品の完成度 2. 学習意欲：授業への参加と課題への取組み（深い考察）					課題	50%	
					学習意欲	50%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
		時間数				時間数	
1. 平面デザイン基礎：点・線・面		4	16. 様々な感覚的イメージをデザインする				
2. 平面デザイン基礎：点・線・面			17. 様々な感覚的イメージをデザインする				
3. 課題①：パターンデザイン		16	18. 様々な感覚的イメージをデザインする				
4. 平面デザイン基礎：点・線・面			19. 様々な感覚的イメージをデザインする				
5. 平面デザイン基礎：点・線・面			20. プレゼンテーション・講評会				2
6. 平面デザイン基礎：点・線・面			21. 課題③：マスキングテープのデザイン				12
7. 平面デザイン基礎：点・線・面			22. オリジナルのマスキングテープ柄				
8. 平面デザイン基礎：点・線・面			23. オリジナルのマスキングテープ柄				
9. 平面デザイン基礎：点・線・面			24. オリジナルのマスキングテープ柄				
10. 平面デザイン基礎：点・線・面			25. オリジナルのマスキングテープ柄				
11. プレゼンテーション・講評会		2	26. オリジナルのマスキングテープ柄				
12. 課題②：イメージの視覚化		16	27. 課題④：課題総まとめ			8	
13. 様々な感覚的イメージをデザインする			28. これまでデザインした平面表現を立体化				
14. 様々な感覚的イメージをデザインする			29. これまでデザインした平面表現を立体化				
15. 様々な感覚的イメージをデザインする			30. これまでデザインした平面表現を立体化				
その他			関連科目				

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
素材演習 I (建築材料)		演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	120	2	浅井 琢也 宮沢 千夏子 清水 利至 安富 万里子 萩原 一浩	
授業の目的・目標						
手作業と機械による加工の違いを体験を通して知り、安全に道具や機械を使えるようになる。座学で理解出来ないインテリア材料について、見学を中心にした授業を行い、他の授業での理解力を高める。業界の認知を深める。インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得る。デザインと建物の安全性について理解する。木材の種類の違いやその生産現場の様子を知り、木材の乾燥方法の特性を学ぶ。木を素材として扱う場合に特徴を活かしたデザインにつなげることができる。プラスチックに関する知識は、デザインワークのみならず日常生活にも活用することができる。基本的な加工方法を習得することにより、モデル制作などに応用できる。自分で撮影した写真をプリントして、客観的な評価を基に第三者に伝わる写真を撮る～就活に活用するポートフォリオに使用出来る様にする						
授業の概要						
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。						
成績評価の方法						
出席60%、授業態度20%、提出20%				平常点	60%	
1、平常点（主体的な授業参加度）				学習意欲	20%	
2、学習意欲（学習意欲の有無、授業態度）				課題	20%	
3、課題（提出率と提出された課題の完成度）						
使用テキスト・教材						
制作物用木材。「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都 配布資料・アクリル板・プラ板・加工材料一色						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	道具の使い方 安全、定規、のこぎり		4	木造軸組工法の壁量計算		2
2.	木材、げんのう、電動ドリル		4	屋根の構造		2
3.	ボール盤、研磨紙、ネジ、トリマー、ジグソー		6	壁・床・天井の構造		2
4.	糸ノコ、サンダー		2	建具の構造、木造の断熱性能		2
5.	寸法について 人体の寸法、建築の寸法		4	既存建物調査と耐震診断		2
6.	切削について 刃物の扱い、カンナ削り		4	期末テスト		2
7.	実演木製品の制作		6	木の基本知識を学ぶ		2
8.	住宅設備ショールーム見学TOTO・Panasonic・LIXIL		20	期末テスト校外授業(乾燥工場・製材工場)		6
9.	家具ショールーム見学		4	校外授業復習・レポートまとめ		2
10.	建築現場見学		4	樹脂の種類と特性・扱い方		4
11.	住宅展示場		12	身近なプラスチックの手加工		6
12.	建築物の構造形式・分類		2	絞り,シャッタースピード,ISOの配列及び関係性を理解する		2
13.	木材・木質材料、木構造の特徴		2	フリー題材で、屋外での撮影		2
14.	地盤と基礎		2	前回の作品の意図を発表～提出		4
15.	木造軸組工法の構成部材		2	18mmと55mmの開放値とF22の被写界深度の違いを実感する撮影		2
その他			関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
CAD・CGデザイン I (基礎製図)			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	180	4	本野 智美 小沼 勝也	
授業の目的・目標						
デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。建築CAD検定3級取得を目標に、JWCADの基本操作を学ぶ						
授業の概要						
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。						
成績評価の方法						
授業への取り組みの真剣度での評価 学習意欲50%、検定試験の結果50%					課題	20%
					学習意欲	80%
使用テキスト・教材						
ガイド本、必要に応じてプリント配布 教科書（建築CAD検定試験問題集）						
授業内容・授業計画						
						時間数
1	【Illustrator】 ツール等の基礎知識～オブジェクトを使った練習課題					28
2	【Illustrator】 パスの描き方習得～パスやオブジェクトを使った練習課題					12
3	【Illustrator】 文字の打ち方習得～文字ツールを応用した練習課題					12
4	【Illustrator】 その他の機能やツール操作習得					8
5	【Photoshop】 ツール等の基礎知識～画像加工や補正などの操作方法習得					20
6	【Photoshop】 基礎からの練習課題					12
7	デザインへの応用課題 1) ピクトグラム制作～プレゼンまで					16
8	デザインへの応用課題 2) 本の装丁(トリムマーク知識)～プレゼンまで					12
9	CAD基礎知識					2
10	基本コマンド					6
11	変形コマンド					4
12	例題作図					6
13	3級検定試験過去問の解説					8
14	過去問演習					22
15	模擬試験					12
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーションⅡ デザインCADⅡ			

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザイン I A(設計製図)		講義・演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	2	小林 良行
授業の目的・目標					
インテリア基礎製図の知識と表現力を身につける。					
授業の概要					
インテリアを実現するための手書きによる、製図の基礎学習。					
成績評価の方法					
課題内容、提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。				学習意欲	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
配布プリント					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 図面の役割、図面の種類、製図のルール					4
2. 道具の説明、演習①線の練習、					4
3. 演習②線の練習					4
4. 課題1、線、A3					4
5. 課題2、材料表示記号、A3					4
6. 課題3、開口部表示記号、A3					4
7. 課題4、平面図の描き方、、A3トレーニング					16
8. 課題5、平面図1階 1/50、A3					10
9. 課題6、平面図2階 1/50、A3					8
10. 課題7、断面図 1/50					10
11. 課題8、立面図 1/50					8
12. 課題9、かなばかり図 1/30					16
13. 課題10、展開図 1/30					10
14. 課題11、住宅1階平面図 1/50、A3					18
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)			年度		2020年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
デザイン I B(環境工学)			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	1	岩崎 京子 宮沢 千夏子 伊達 剛 甲賀 雅章
授業の目的・目標					
2年次のインテリアコーディネーター資格取得。インテリアに関する幅広い商品知識を身につけ、住宅、建築・インテリアエレメント等さまざまなフィールドで活躍できる知識の習得。インテリア空間を表現する上で必要な力を身につける。また、同時にプレゼンテーションボードを制作し、伝え方の表現を学ぶ。光や風という人間の生活と密接な関わりのある環境を考慮したモデルを考え、模型を作成。その模型を使い、光や風の環境実験を行い、環境に対する理解を深めていく。形態と環境の関係を理解することで、デザイン力を向上させることができるようになる。デザインを制作するにあたり、色々な角度や方法を学び、より幅広く深く実践的な発想方法を習得。					
授業の概要					
インテリアコーディネーター資格取得に向け、試験対策と共に、インテリアデザイン・建築の基礎知識を身につける。カラー・ジュ・製作でさまざまなインテリアテイストに触れることで、テイスト別のカラー、素材感、フォルムなどを学ぶ。住宅の一室のインテリアコーディネートボードを制作する。環境に対する考え方の基本的知識を得る。環境からデザインをどう考えたらよいのか、空間をどのようにとらえていけばよいのか、そのヒントを得る。マインドマップやブレインストーミング、KJ法、ポジショニングマップ等の色々な方法から発想力と発想方法を実践から学ぶ。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度）			学習意欲		30%
2、期末テスト			課題		70%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上・下、バックボード、はさみ、スプレーのり、雑誌、カタログ 等					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. インテリアの意識の芽生えとインテリア空間	2	16. 間取りと窓を考える(課題取組 1)	4		
2. インテリア産業の発展とコーディネーターの誕生	2	17. 模型製作(課題取組 3)	8		
3. 住宅空間の種類と手法	2	18. プレゼンテーション(課題成果品の発表)	2		
4. 人体・動作寸法、感覚・知覚特性の検討	2	19. 光と風について考える・環境について	4		
5. 心理・行動特性、人間工学面の検討	2	20. マインドマップの説明・作成・発表	8		
6. 家具・設備の種類と計画・検討・空間の配置と規模	4	21. ブレインストーミング	6		
7. 住宅の安全性、性能と評価、コスト維持管理	4	22. KJ法説明	6		
8. 住宅の生活様式・居室の構成手法	6	23. 11.ファッションプロダクト/デザインとアートの違い	2		
9. リフォーム計画	2	24. 12.リサーチとアイデアプロセス	2		
10. 家具について・家具の選び方・名作家具	6	25. デザインディベロップ	2		
11. 家具の構造・材料と金物・造作物品	4	26. surreal をテーマに帽子のデザインをする	2		
12. 期末テスト・解答・解説	4	27. (1)リサーチ/ surreal,hat,hat designer	2		
13. 環境とは何かを考える(形態との関係性)	2	28. (2)デザインディベロップ、スケッチ/帽子	2		
14. 環境と空間の関係性について	6	29. (2)デザインディベロップ、スケッチ/帽子	2		
15. 内と外の関係性について(窓の考察 1)	4	30. プレゼンテーション、講評	6		
その他			関連科目		
※単元ごとと演習課題を実施する。			一般構造 I、材料知識 I、デザイン史		

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I		講義		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①コミュニケーション能力を高める ②社会人としての基本的マナーを身につける ③ビジネスマナー検定対策					
授業の概要					
①まずは「自分自身を知ること」から始め、個々の働くことに対する意識を高める。特にコミュニケーション能力を強化することを重視し、様々な場面で対応できる個人形成を目的とする。					
成績評価の方法					
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する				平常点	60%
				学習態度	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料 ビジネス実技マナー技能検定ガイドブック					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 働くとは 企業の求める人材			6		
2. ビジネスマナーとは 職場のマナーとは			6		
3. 第一印象の重要性 動作確認			6		
4. コミュニケーションとは 非言語・準言語			6		
5. 信頼される言葉遣い 相手軸の言い方			6		
				時間数	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
産学連携プロジェクト I		演習		インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	宮沢千夏子	
授業の目的・目標						
地域のプロダクションとして、企画やデザインを担当し、地域貢献をする。						
授業の概要						
商品開発やイベントなどを実際に手掛ける。社会の中でデザイン力を活かす。						
成績評価の方法						
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%	
				学習意欲	50%	
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 伝馬町イベントに向けての 2. ディスプレイ制作			30			
3. 調査・デザイン・制作・設営 4. 企業コラボレーション			30			
5.						
6.						
7.						
8.						
9.						
10.						
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						